

鳴橋直弘：バラ科キイチゴ属の日本産 2 新品種ハナタチモミジイチゴと  
クロミノナワシロイチゴ

591- [redacted] 大阪府堺市 [redacted] [redacted]

Naohiro NARUHASHI: Two New Forms of *Rubus* (*Rosaceae*), *R. palmatus* f. *satoryui*  
and *R. parvifolius* f. *enomotoi* from Japan

[redacted] Kita-ku, Sakai, 591- [redacted] JAPAN  
E-mail: yjrqx660@ybb.ne.jp

(Accepted on September 27, 2019)

**Summary:** Two new forms of *Rubus* (*Rosaceae*) are described from Japan. They are *R. palmatus* Thunb. f. *satoryui* Naruh. & Yu. Abe from Akita Pref. and *R. parvifolius* L. f. *enomotoi* Naruh. from Okayama Pref.

2018年の夏に、秋田県の阿部裕紀子氏から佐藤隆氏採集の奇妙なキイチゴ属植物の同定を頼まれた。モミジイチゴに似ているが花が上向きに咲くという。標本と写真が送られてきたが、それを見て驚いた。というのは、今までモミジイチゴで、花が上向きに咲いている個体を見たことがないからである。そこで、キイチゴ属でよくある種間雑種のことを考え、標本や写真から他の種の形質が入っていないかを調べたが、形態的特徴はモミジイチゴそのものであった。また、多雪地帯なので、雪の重みのために、開花状態に異常があったものではないかとも考えた。そこで、2019年再度現地で、つばみから果実までの観察をお願いした。その結果、つばみも上向きで、もちろん花も上向きで、果実も上向きであることが分かった。その付近にあるモミジイチゴは下向きに開花しているので、上向きに咲くことは環境の影響ではない。2年続けての形態的特徴なので、遺伝的に固定したものと考え、名前を付けることにした。

生育地は田沢湖に近いスギ植林の林縁、標高は約410 mである。林道脇の1カ所に小集団があり、個体数は不明だが約10本の茎があったという。和名は空に向かって立って花が咲くことからハナタチモミジイチゴとした。

***Rubus palmatus* Thunb. f. *satoryui* Naruh. & Yu. Abe, f. nov.** [Fig. 1A, B]

This form differs from *Rubus palmatus* Thunb. f. *palmatus* in erect or assurgent bud, flower and fruit. Peduncles are not nodding but erect or assurgent. Other morphological features are the same as f. *palmatus*.

**Type:** JAPAN. Honshu. Akita Pref., Senboku-shi, Tazawako-tazawa, Yoroibata, ca. 410 m alt., 14 June 2019, Ryu Sato & Yukiko Abe s.n., (OSA–holotype; AKPM–isotype).

Other specimen examined: JAPAN. Honshu. Akita Pref., Senboku-shi, Tazawako-tazawa, Yoroibata, ca. 410 m alt., 30 Apr. 2018, Ryu Sato s.n. (OSA).

**Distribution:** Akita Pref.

**Japanese name:** Hanatachi-momiji-ichigo (nov.).

和名:ハナタチモミジイチゴ(花立紅葉莓)(新称)

**Etymology:** The form epithet, *satoryui* is dedicated to an amateur researcher, Mr. Ryu Sato who discovered this form.

岡山大学資源植物科学研究所の榎本敬博士から2001年に黒く熟するナワシロイチゴの標本が送られてきた。筆者は生育地で確認したいと思っていたが、今年まで機会がなかった。2019年、写真を受け取り、通常赤黒くなったナワシロイチゴではないことが確認できたので、発見者の榎本博士に6月18日に現地を案内していただいた。しかし、残念ながらその植物を見つけることが出来なかった。

**Type:** JAPAN. Honshu. Okayama Pref., Bizen-shi, Hinase-cho, Umenada-hanto, 2 m alt., 19 June 2001, Takashi Enomoto 12622S (OSA-holotype; Herb. Institute of Plant Science and Resources, Okayama University-isotype).

**Distribution:** Okayama Pref.

**Japanese name:** Kuromi-no-nawashiro-ichigo (nov.).

和名:クロミノナワシロイチゴ (黒実苗代莓) (新称)

**Etymology:** The form epithet, *enomotoi* is dedicated to a researcher, Dr. Takashi Enomoto who discovered this form.

最後に数回に渡り現地で観察, 写真撮影, および標本を作製された佐藤 隆氏と阿部裕紀子氏に, 標本, 写真, および現地を案内していただいた榎本 敬博士に, また原稿を読んで有益なコメントをいただいた瀬戸 剛氏と門田裕一氏に対して心より感謝申し上げます.

#### 摘 要

キイチゴ属の2新品種を記載した. 花が上を向いて咲くハナタチモミジイチゴ (秋田県仙北市田沢湖田沢鑑畑産) と果実が黒いクロミノナワシロイチゴ (岡山県備前市日生町梅灘産) である.